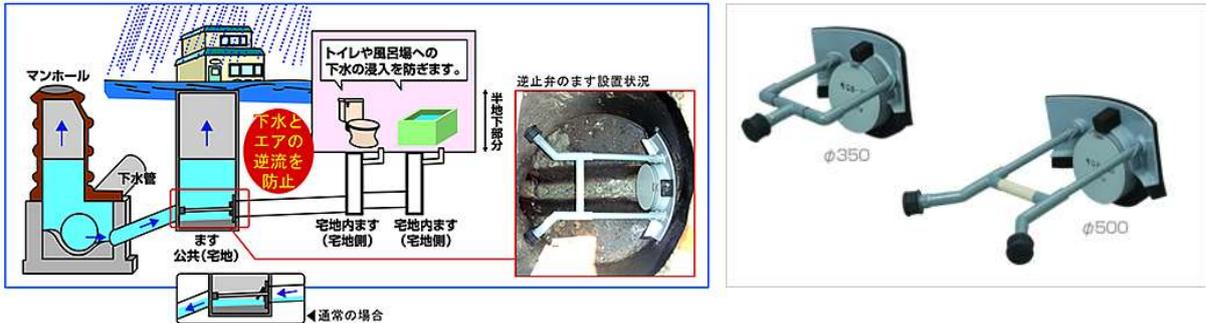


設備工事情報シート	衛生	Ⅱ-P-67	制定	2005年4月1日
			改訂	2015年3月1日
Ⅱ. メーカー情報	コンクリートます用逆止弁		クボタシーアイ編	

1. 目的・概要

近年、集中豪雨や台風がもたらす大雨により下水が逆流し、宅地内の半地下家屋や地下室での浸水被害が起こっている。このような浸水被害を低減するため、取付け作業が困難な従来の取付け管への嵌め込みタイプではなく、ます内で簡単に取付け、取り外しができ既存対応可能なコンクリートます用逆止弁の特長を示し施工上の注意点を紹介する。尚、弁本体の維持管理自体は容易であるが、採用取付けにあたっては排水系全体の検討・評価が必要であり、建物所有者・維持管理者に認識が不可欠である。
※当製品は共同開発品ですが東京都下水道サービス株式会社様が、製品の性能を保証しているものではありません。

2. 逆止弁の設置状況



3. 逆止弁の特長と各部名称

(1) 特長

① 止水性の高い、くらによる貼付工法を採用

下水マンホール継手で実績のある『くら』を採用し、パッキンにはます内壁にぴったりフィットする『スポンジ系ゴム』を採用。

② 施工能の向上

ディスクグラインダ、マジックハンド等を利用して施工可能。

③ 簡単な維持管理

ます内設置により、目視点検が可能。接合剤を使用しないため、取り外しが簡単。

(2) 各部名称



4. 施工要領およびポイント



(1) 取付け位置の確認
ますの内壁、インパートを清掃し、取付け位置を確認してください。
弁は、ます流入側(宅地側)に取付けます。



(2) ます内壁(宅地側)の調整
ますの流入側(宅地側)内壁、インパートに大きな段差等がないか確認してください。
流入管が内壁から突出している場合、ディスクグラインダー等の工具を用い内壁からの突出長さが約5mm以下になるように切断してください。

資 料



(3) 弁の仮置き
弁をまず流入側内壁及びインバートに合わせ仮置きしてください。
※手の届かない箇所はマジックハンド等を用いて作業してください。



(4) 弁の仮押え
弁の上部をパイプ又は角材等で仮押えし、弁全体を内壁に密着させてください。



(5) 支持脚の取付け
仮押えした状態で、支持脚をまずに取付けてください。なお支持脚は増し締めができるように斜め（支持脚先端のゴムキャップが水平位置より上方）に取付けてください。



(6) 支持脚の調整
支持脚の取付け時、支持脚とますの間に隙間ができてたり、ゆるくて取付けできない場合には、ゴムキャップを回し調整して取付けてください。



(7) 弁の圧着
くら部上面をパイプ又は角材等で下方へ押し込み、弁とインバートの間いがたつきがないよう均等に密着させてください。



(8) 支持脚の最終調整（増し締め）と装着の確認
ゴムキャップをパイプ又は角材等で下方に押し込み、支持脚がまずに対して水平になるようにしてください。最後に支持脚を持ち上げて容易に外れないことを確認してください。

5. 設置上の注意事項

- 居住者の方に必ずご説明いただきたいこと
本製品は、宅地側水位より下水道管側の水位が高くなると、弁フタが閉じて、下水道管側から宅地内への下水の浸水を低減する製品です。
（完全な水密性はありません）
弁フタが閉じた状態でトイレや風呂などから排水しますと、宅地内であふれる恐れがあります。
大雨の時は排水を控えてください。

点検時、製品に破損等の異常がある場合は、新しい製品に交換してください。

製品に衝撃等を与えないでください。破損します。

弁フタは、捻らないでください。破損します。

6. 問い合わせ先

クボタシーアイ株式会社 設備・プラント営業部

本 社：TEL 06(6648)2375 FAX 06(6648)2569 東京本社：TEL 03(5246)7800 FAX 03(5246)2880

- 設置検討時にご確認いただきたいこと
雨水管は、宅地の排水管に接続しないでください。接続しますと大雨の際に雨水が宅地内排水設備から逆流します。

設置する場合は、管轄の下水道事業者にご相談ください。

管路勾配や高低差など、設計上の制限があります。設置の適否については弊社までご相談ください。

半地下部分への浸水を完全に防ぐために、排水ポンプの設置を基本とし、本製品は補助としてご使用ください。

製品を火気又は熱源に近づけないでください。変形・破損します。

本製品のスポンジゴムに異物を付着させたり、削ったりしないでください。